

特殊詐欺の発生状況（平成28年9月末）

～息子をかたるオレオレ詐欺予兆電話が連続発生～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（9月末現在）

長崎県内において警察が認知した振り込み詐欺などの特殊詐欺は、

被害件数71件（前年同期比－26件）

被害総額約1億200万円（前年同期比－約2億1,400万円）

であり、被害者の年齢別では、**65歳以上が約76%**を占めています。

2 県内の特殊詐欺の傾向

9月中に認知した特殊詐欺は、

4件（前年同月比－12件、被害総額約840万円）

であり、手口は

架空請求詐欺（金融商品取引名目）2件

融資保証金詐欺1件

還付金等詐欺（市役所などの公的機関かたり）1件

発生しています。

また、本年7月以降、県内全域において、息子を名乗る男からのオレオレ詐欺の予兆と思われる不審電話が相次いでおり、生活安全企画課で把握しているだけでも、9月中約90件の相談を認知しています。

息子を名乗る電話であっても、電話でお金の話が出たら詐欺を疑い、すぐに他の家族や警察に相談して下さい。

3 被害者の年齢・性別構成

4 特殊詐欺全体の被害金交付形態

	平成28年9月末現在		
	男性	女性	計
～ 19	1	-	1
20 ～ 29	-	3	3
30 ～ 39	-	2	2
40 ～ 49	1	2	3
50 ～ 59	3	2	5
60 ～ 69	5	2	7
70 ～ 79	4	27	31
80 ～ 89	4	15	19
90 ～	-	-	-
合計	18	53	71

	平成28年 9月末現在 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	44
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	5
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	15
キャッシュカード受取型	7
合計	71